



三輪そうめんの冬期の消費拡大を目指す「三輪にゅうめん PR 事業」 ～ グルメイイベント「第6回桜井市場～ん」で初の“にゅうめん横丁”を出店～

■三輪そうめんの新たな需要創出への取組み

桜井市は「そうめん発祥の地」とされ、播州、小豆島とともに日本三大そうめんの一つ「三輪そうめん」の産地となっている。

三輪そうめんは、高級品としてお中元など贈答品としての人気が高く、奈良県外の人々がブランド名を認知するきっかけにもなっていたが、虚礼廃止の流れもあり贈答品としての需要はピーク時から大きく減少している。

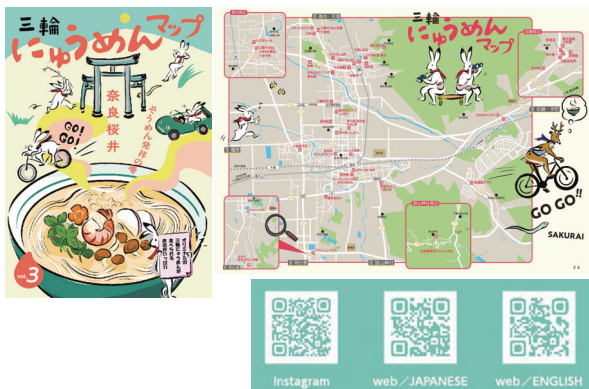
そのような中、夏期の消費が中心のそうめんを温かい出汁で食べるにゅうめんの消費拡大は、新たな需要創出につながる取組みとして注目され、2022年から桜井市内のそうめん製造事業者、飲食店、奈良県三輪素麺工業協同組合、桜井市、桜井市商工会が一体となって「三輪にゅうめん PR 事業」に取り組んでいる。

■三輪にゅうめんマップを発行

桜井市商工会では、オリジナルのにゅうめんが食べられる店を掲載した「三輪にゅうめんマップ」を発行しており、市内の飲食店や観光案内所、県内の道の駅などで無料配布している。

同マップは店の所在地を一覧表示しており、お気に入りの店を探す際に役立つ。また、各店の一押し商品が店主・店員の写真とともに紹介されており、異なるメニューの食べ歩きも楽しめる。

にゅうめんの取扱店の増加に伴い、ここまで2回改訂しており、飲食店のにゅうめんメニューの売上拡大に貢献している。



三輪にゅうめんマップ Vol.3

■グルメイイベントへのにゅうめん横丁の出店

グルメイイベント「桜井市場～ん」は、地域経済の活性化や飲食店の知名度向上などを目的に、桜井市商工会青年部が主催して隔年開催されている。

2025年2月23日（日）、「第6回桜井市場～ん」が桜井市役所の庁舎前駐車場で開催され、約1万人が来場した。今回、このイベントでは初めて「にゅうめん横丁」が出店され、市内8店舗がオリジナルのにゅうめんメニューを提供した。また、にゅうめんを制限時間内にどれだけたくさん食べられるかを競う「わんこ new めんカップ 2025」が開催され、30組60人が熱い戦いを繰り広げた。

来場者の多くは桜井市及び近隣市町村の住民である。ご当地グルメが知名度を得て売り上げを伸ばすためには、地元の盛り上がりや雰囲気づくりが重要と言われており、今回のイベントは、その絶好の機会になった。



にゅうめんの販売風景

わんこ new めんカップ

■三輪にゅうめんの消費拡大を通じた地域活性化

2024年に「三輪にゅうめん PR 事業」の一環として実施したモニター調査では、首都圏における「三輪そうめん」と「にゅうめん」の認知度が、近畿圏に比べて低いとの結果が示された。この調査を通じ、首都圏では「三輪」という地名が認知されておらず、またそうめんを温かくして食べる文化が根付いていないことが分かった。裏を返せばそれだけ伸びしろがあるということであり、首都圏での PR が今後の消費拡大には重要となる。

三輪そうめんは地域経済の中核を担う産業で、その消費拡大につながるにゅうめんの普及は、地域活性化にとって重要な施策となる。（秋山利隆）

【「三輪にゅうめんマップ」に関するお問い合わせ先】

桜井市商工会 TEL：0744-43-0131